

越前町小中学校の再編についての地区懇談会 結果概要
(常磐小学校区：就学児保護者対象)

- 開催日：令和4年10月25日（火）午後7時2分～8時10分
- 場 所：越前町生涯学習センター
- 参加者：就学児保護者5名
- 内 容：常磐小学校の再編についての意見交換

主な意見と回答

(参加者) 現在、学校再編を行う方向で動いていると思ってよいか。

⇒(教委) 引き続きお話を聞きながら期日などを決めさせて頂きたいと考えている。

⇒(参加者) 昨年決定出来なかった方針を決めたいということか。

⇒(教委) 決めていきたいと考えている。

⇒(参加者) 地域の人は、今どうなっているのかと思っているのが現状だと思う。ただ話を聞いているだけでは進まないの、方針の決定など明確にして情報発信をする必要があるのではないか。

(参加者)

⇒(教委) 子どもたちを一定の集団の中で学ばせ育てたいため、再編には賛成。跡地の配慮をして頂き進めて欲しい。

(参加者) 糸生小学校との同時再編は、子どもたちの気持ちや新しい学校を作る機運も盛り上がり、名実ともにやりやすいのではないか。未就学児保護者の指定校変更の希望についても理解できるが、分断しないよう進めて欲しい。

⇒(教委) 未就学児保護者の方も、保護者や地域の方に十分に説明してもらい、ご理解頂いた上で朝日小学校へ行きたいとのことであった。

⇒(参加者) 近年の出生数を考えると、将来を見据えた学校数はこのままでよいのかと考える。

⇒(教委) 中学校は概ね同じ規模の2校として、お互い切磋琢磨出来れば良いと考えている。小学校は子どもが減る状況ではあるが、地域の思い入れもあるため、旧4町村に最低1校は残したいと思う。

⇒(参加者) 人口が流出してしまうことが心配で、朝日小学校を新築するなど夢が持てる越前町となれば、子どもが集まるかもしれない。まちづくりと一緒に考えてもらおうと良いと思う。まちづくりの大きなビジョンを描くには、教育行政だけでなく、町長部局と連携しながら進めていくことが良い姿であり、越前町もそうあって欲しい。このことについては、常磐地区の上の世代も敏感であり、統廃合の時期を決めてからではなく、プロセスの中で示していくと皆さんも納得し易いと思う。

⇒(教委) 他の地区でも、再編する時には学校が何に使われるか決めて欲しいとの要望もあった。難しいことだが、町長部局も含め検討していきたい。

(参加者) 将来、糸生小学校と一緒に再編することを基本として、来年度入学する子どもは常磐小で卒業してもらおう。そして来年1年間で方針を決め、事前に再編を理解し途中で変わることを分かった上で入学すれば、子どもや保護者も安心するのではないか。また、移行時の制服などの費用は全て補助を希望する。

(参加者) 子どもが朝日中学校に通うようになり、友だちが沢山いて楽しいと言っている。反面、皆が馴染んでいる訳ではない。学校が途中で変わることは保護者にとって不安なことなので、事前交流活動をしっかりして安心させて欲しい。指定校変更については、意見の食い違いでもめることも嫌なので、方針を決めて不安を取り除いてもらおうとよい。個人的には糸生小学校との同時再編を希望する。

⇒(教委) 事前交流活動については、時間をかけて友だちになれる場を作っていきたいと思う。未就学児保護者の心配も聞いているので、様々な進め方がある中、ご理解いただきながら決めていきたい。

(参加者) 再編に反対ではないが、話のもって行き方だと思う。常磐地区の年配の方に対して、行政が横の連携をとりながら地域の活性化に繋げるよう説明すれば、文句も言わないのではないか。再編の時期など方針に併せて、施策など明確にしてもらえれば、私たちの方からも説明できてうまく進むと思う。

(参加者) 未就学児保護者が望む指定校変更も、地区が割れるみたいで避けて欲しい。もしやらなければならぬのなら、小規模特認校のように他の地区で馴染めない子が入り易いような学校にして欲しい。町内でも不登校の子が多いと思うので、常磐小の素晴らしい教育力を活用する検討もお願いしたい。

(教委) 今日は皆さんの再編に対する気持ちが分かった。これから地域の方にもお話して慎重に進めたい。指定校変更についても、同じ常磐地区の中の保護者同士なので、注意を払って決めていきたい。また、不登校などの子どもに対応した学校については、他の地区でも意見を頂いているので、教育委員会として検討しなければならないと考えている。